



平成 30 年 6 月 12 日
佐賀大学理工学部

上野直広教授が平成 30 年度全国発明表彰を受賞

【概要】

機械システム工学科の上野 直広 教授が、平成 30 年 6 月 12 日に開催された平成 30 年度全国発明表彰式において、21 世紀発明奨励賞を受賞しました。

【本文】

平成 30 年 6 月 12 日（火）に東京都内のホテルオークラ東京で常陸宮殿下御台臨のもと開催された平成 30 年度全国発明表彰式において、機械システム工学科の上野 直広 教授が 21 世紀発明奨励賞を受賞しました。

全国発明表彰は、大正 8 年、我が国科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的に始められ、以来、我が国を代表する幾多の研究者・科学者の功績が顕彰され、今日の科学技術の発展に大きな足跡を残されてきました。多大な功績を挙げた発明、考案、又は意匠（以下、「発明等」という。）、あるいは、その優秀性から今後大きな功績を挙げることが期待される発明等が表彰されています。

今年度は恩賜発明賞などの第 1 種表彰区分（32 件 85 名）、21 世紀発明賞などの第 2 種表彰区分（8 件 26 名）、発明奨励功労賞（11 名）の 3 区分があり、上野教授は第 2 種表彰区分の 21 世紀発明奨励賞を他 6 名と連名で受賞しました。

本受賞は、「高圧電性窒化スカンジウムアルミニウム薄膜の発明（特許第 5190841 号）」に対してのものであり、AIN 薄膜にスカンジウム (Sc) を添加した ScAIN 薄膜を検討した結果、AIN 薄膜の圧電性を 4 倍以上向上させることに成功し、ScAIN 薄膜を使用した FBAR フィルタでは省電力化が可能となり、挿入損失を低減できると大きく期待されています。

なお、この表彰については発明協会の Web サイトにも掲載されています。

(<http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/zenkoku/2018/21ce1.html>)

賞状

二十一世紀発明奨励賞

上野直広 殿

外六名

高圧電性窒化スカンジウムアルミニウム薄膜の発明

右の発明は優秀であり、科学技術の向上と産業の振興に大きく寄与するものと認めます。ここに平成三十年度全国発明表彰において本賞を贈り、その栄誉を称えます。

平成三十年六月十二日

公益社団法人発明協会

会長 野間口 有



授与された表彰状